



● 発行所
北海道被爆者協会
札幌市白石区平和通

17 丁目北 6-7

北海道版 北海道ノーマア・ヒバクシャ会館内
TEL/FAX 011-866-9545

北海道被爆者協会

ホームページ

<http://h-nomore-hibakusha.org/>

メール dohidankyo@poppy.ocn.ne.jp

日本被団協中央相談事業講習会 63年の歩みを振り返り核兵器のない未来へ

11月3日、札幌市のクリスマスチャットを兼ねて行われました。参加センターで被団協の被爆者相談者は35名でした。

講習会が、道被爆者協会の独自の企画のもと、札幌市被爆者の会の秋の学習会、被爆二世プラスの会会員の



を作らないとの訴えが核兵器禁止条約の成立につながったこと、条約の基礎に国際人道法があることを思い起こそうと話しました。

北海道原水協の嶋田千津子事務局長は今年の原水禁世界大会は世界各国・国際組織の代表の参加も大きな成果を上げた、あと4か国署名すると核禁条約は国連加盟の過半数に達する、今後とも被爆者と共に頑張っていきたいと語りました。特に若い世代の参加が目立ったとの報告が印象的でした。

二世プラスの会 何をどう継承するかを議論

午後は被爆二世プラスの会会員の集い。冒頭札幌南高(定)の野口隆教諭がこの3年間の平和学習の取り組みを報告、参加者に大きな感銘



・非被爆者は語り継ぎ部ではないか。
・NGOのANT-Hiroshimaの活動はきつと参考になると思う。
川去会長談…
実りの多い議論だった。方向性は見えてきたと思う。